

生徒指導だより

防府市立中関小学校

2023. 6. 30

第 4 号

いじめのない中関小をめざして

6月が終わろうとしています。6月は1年の中でもいじめが起りやすい時期だと言われています。人間関係ができてくる、慣れにより気持ちが緩んでくる、じめじめしてなんとなくやる気がでない。このようなことからトラブルが増え、いじめが起りやすくなるのです。

そこで、各学年の学年集会で生徒指導主任から以下のような話をしました。



・中関小のいじめのほとんどは「言葉」が関係していること。

・大切なのは、相手の気持ちを想像して言葉を使うこと。

・命に関わる暴言は、決して使わないこと。

・落書きや LINE、手紙、手のジェスチャーも言葉と同じであること。

ご家庭でも、お子様が気になる言葉を使ったときに、そのまま聞き流すのではなく、「その言葉は使わないで」「そんな言葉は聞くだけで悲しい気持ちになるよ」と伝えてください。相手を思いやる言葉をたくさん使って、友達と仲良く楽しく関わって欲しいと思います。



地域の方へのあいさつを がんばります！

登校班の班長による「班長会議」を行いました。毎日、自分たちを見守ってくれている地域の方へのあいさつをがんばっていこうと話しました。これからも、班長さんたちは責任をもって、下級生に手本を示せるようにがんばっていきます！

4年片山さん

班のみんながあいさつできるように、まず班長が大きい声であいさつをする。

5年山内さん

班長として、班のみんなによいあいさつの手本を見せたり、声をかけたりする。

6年武田さん

班長として、地域の方を明るい気持ちにできるような元気なあいさつをする。

「自分で」考えて行動する

参観日の朝の6年生の様子です。保護者の方が気持ちよく学校に来られるように、昇降口や階段をきれいにしておこうと「自分たち」で考えて、「自分たち」で行動したようです。

掃除の時間だからではなく、「自分で」考えて、行動できたことがすばらしいですね。

中関小の6年生は、こういう姿でも全校を引っ張ってくれています。いつもありがとう、6年生！

